

「新幹線の生みの親」十河信二氏ゆかりの地である当市には、四国初の本格的な鉄道資料館「四国鉄道文化館」があります。「台湾電力の父」と呼ばれる松木幹一郎氏や、近鉄社長を務めた佐伯勇氏は当市の出身者です。

日本と台湾 鉄道が繋ぐ未来

日台鉄道観光フォーラム記念展



予讃線で台湾鉄道カラーの特急いしづちが運行中▲



佐伯 勇氏

丹原町長野出身。東京帝大を卒業後、近鉄グループの総帥として生涯を社業の隆盛にささげました。郷土丹原をこよなく愛し、佐伯記念育英会の設立や佐伯記念館・郷土資料館の建設など、教育・文化の進展に寄与。



松木幹一郎氏

河原津出身。東京帝大卒業後、鉄道院理事、台湾電力(株)社長等を歴任。当時アジア最大の発電量となる水力発電所を台湾の日月潭に完成させ、台湾の電化に尽力された功績から「台湾電力の父」と呼ばれています。



十河信二氏

現在の新居浜市旧中萩町出身。東京帝大を卒業後、鉄道省経理局長、南満州鉄道理事等を歴任。旧西条市の第2代市長として市政の進展に尽力。国鉄総裁として新幹線の生みの親となるなど、鉄道事業の発展に寄与。

日台の交流を深める サミットとフォーラム

日本と台湾の観光交流を促進するため、「日台観光サミット」が毎年、日本と台湾で交互に開かれています。今年 は四国での開催となり、この一環として「日台鉄道観光フォーラム」が6月2日(金)に当市で開催されます。フォーラムへは、日本と台湾の旅行業

・観光業関係者など約300人が参加予定です(一般入場はできません)。

このフォーラム開催を記念して、展示会を実施します。展示会へはどなたでもお越しいただけます。

フォーラム記念展

「日本と台湾 鉄道が繋ぐ未来」西条市が生んだ3偉人の功績」

期間 6月3日(土)～8日(木)

※5日(月)を除く

時間 9時30分～17時

場所 総合文化会館 展示室

主な展示内容

当市が誇る3人の偉人、十河信二氏、松木幹一郎氏、佐伯勇氏の功績や、市が所蔵する鉄道資料を紹介いたします。十河氏が国鉄総裁時代の国鉄資料や新幹線建設に関する資料、松木氏が完成させた台湾の水力発電所周辺の地形立体模型、佐伯氏に関する近鉄関係の写真などを展示します。ほかに四国鉄道文化館の名誉顧問であった増田浩三氏の鉄道コレクションも展示予定です。

問合せ 市庁舎新館2階

観光振興課

Tel 0897-52-1446

「予章記」が 県文化財に指定

3月28日、市内北条の長福寺が所蔵している「予章記」が、愛媛県の有形文化財(典籍)に指定されました。

「予章記」は中世伊予に栄えた河野氏が自らの氏族の来歴を記したもので、原本は存在しておらず、長福寺所蔵のものは「長福寺本」と呼ばれる伝本の一つとして最も広く一般に流布しています。長福寺中興開山である南明禪師の手により、江戸時代初期に書写されたと考えられます。

平成21年に西条市有形文化財に指定されましたが、伊予の歴史を解明する上で重要な史料であるとして、今回、県指定となりました。

問合せ 市庁舎新館4階

社会教育課

Tel 0897-52-1628

